

2020.10 – 2021.3
コースフロー / コースカリキュラム

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、
コンプライアンス意識向上に
不可欠な知識が修得できます。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>
日立アカデミーWebサイト

※本ガイドは2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。

※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。

※集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

● モニタリング：内部統制が有効に機能しているかを継続的に監視する

HSJ062 グループ演習

事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
-高信頼性システム実現のために-

1 日間

HSJ018 グループ演習

システムトラブルの予防と是正
-ISMS・システム監査の
視点から-

2 日間

● 記録管理：内部統制の状況の確認、不正の発見、不正の抑止効果、内部統制の有効性の説明のために、企業活動を網羅的かつ正確に記録として残し管理する

音声有+説明文なし

DBE015 eラーニング

HiRDB機能解説

7 時間

DBJ092 マシン実習

HiRDBデータベース管理

2 日間

または

音声有+説明文なし

DBE305 eラーニング

【マシン演習付き】
HiRDBデータベース管理

12 時間

● セキュリティ管理：内部統制を実現するシステムが不正にアクセスされることを防止・抑止するためのセキュリティを管理する

音声なし+説明文有

SCE708 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報セキュリティリテラシー
-セキュリティの必要性と対策-

初心者におすすめ 4 時間

音声なし+説明文有

SCE706 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報セキュリティマネジメント概説
-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-

8 時間

音声なし+説明文有

SCE703 eラーニング

【ナビ機能付き】
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
-要素技術(暗号、認証)編-

6 時間

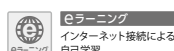
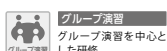
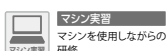
音声有+説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし+説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



● システム運用管理：内部統制を実現する各システムが正しく導入・運用されることを保証するために管理する

<p>JPJ279 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-</p> <p>2日間</p>	<p>JPJ280/JPJ280T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-</p> <p>2日間</p>	<p>JPJ281/JPJ281T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース</p> <p>4日間</p>	<p>JPJ282/JPJ282T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理</p> <p>2日間</p>
<p>JPJ291 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1 -資産管理編-</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ292 マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2 -セキュリティ管理編-</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ293/JPJ293T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3 -配布管理編-</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ294/JPJ294T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース</p> <p>3日間</p>
<p>JPJ295/JPJ295T マシン実習</p> <p>JP1プロフェッショナル セキュリティ管理</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ296/JPJ296T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント 統合管理</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ297/JPJ297T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント パフォーマンス管理</p> <p>1日間</p>	<p>JPJ300/JPJ300T レクチャ</p> <p>JP1コンサルタント 資産・配布管理</p> <p>1日間</p>
<p>音声なし+説明文有</p> <p>ITE701 eラーニング</p> <p>【ナビ機能付き】 運用管理概説</p> <p>初心者におすすめ 6時間</p>	<p>ITJ008 グループ演習</p> <p>情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-</p> <p>1日間</p>	<p>ITJ009 グループ演習</p> <p>IT運用における ヒューマンエラー予防</p> <p>1日間</p>	<p>音声なし+説明文有</p> <p>ITE006 eラーニング</p> <p>SLAにおける サービスレベル設計の基礎</p> <p>4時間</p>
<p>ITJ004 グループ演習</p> <p>システム運用の現状分析・ 設計力養成ワークショップ</p> <p>2日間</p>	<p>Renewal</p> <p>ITJ014 PDU レクチャ</p> <p>(PDU) ITIL® ファンデーション (ITIL® 2011対応) (認定試験付)</p> <p>3日間</p>	<p>New</p> <p>ITJ013 PDU レクチャ</p> <p>(PDU) ITIL® 4ファンデーション (認定試験付)</p> <p>3日間</p>	<p>CLD001 グループ演習</p> <p>事業と技術の観点から検討 するクラウドへの移行と管理 - Cloud Essentials -</p> <p>2日間</p>

● SNSコンプライアンス：SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）のトラブルを防ぐ

<p>音声なし+説明文なし</p> <p>HSE129 eラーニング</p> <p>SNSのリスクと 利用時のガイドライン</p> <p>1時間</p>
--

- 音声有+説明文有**：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
- 音声有+説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- 音声なし+説明文有**：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

HSJ062 コンプライアンス

**事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
—高信頼性システム実現のために—**

1日間

情報化社会におけるコンピュータシステムは、組織や社会のインフラを支えるという極めて重要な役割を担っています。これらのシステムに障害が発生すると、ビジネスに与える影響は非常に大きなものとなるため、今日の情報システムには高い信頼性と安全性が求められています。システムトラブル対策の実践的知識を学習します。IT技術者が開発段階や運用段階で実施すべきトラブル対策のポイントを、解説とグループ演習を通して学習します。

到達目標 ・システムトラブル発生状況とその対策実施状況を確認できる。
・開発段階と運用段階で留意すべきトラブル対策のポイントを理解できる。
・システムトラブルマネジメントシステムの構築手順を理解できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、システム開発担当者、システム運用担当者の方、システム品質管理担当者、ISMS導入担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容 1. 今なぜシステムトラブル対策なのか
(1)システムトラブル統計情報
(2)トラブル防止に向けた取り組み
2. 開発段階で実施するトラブル対策
(1)開発段階における留意事項
(2)開発段階での対策提言
3. 運用段階で実施するトラブル対策
(1)運用段階における留意事項
(2)運用段階での対策提言
4. システムトラブルをマネジメントする
(1)トラブル情報の収集とその活用
(2)原因分析と対策立案
5. まとめ
講師：前橋システムコンサルティング株式会社代表取締役
前橋雅夫氏（公認システム監査人）

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ018 コンプライアンス

**システムトラブルの予防と是正
—ISMS・システム監査の視点から—**

2日間

情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を、予防処置と是正処置の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするためには何をすべきか、その対策ポイントについて研究・学習します。

到達目標 ・情報システムの開発業務や運用業務でトラブルを引き起こさないための対策ポイントを説明できる。
・システムトラブルの原因分析ならびに対策立案の手法を説明できる。
・ケーススタディ演習において、システムトラブルの原因分析ならびに対策方法を立案できる。

対象者 ISMS導入を担当する方、ISMS内部監査人、プロジェクトマネージャ、システム開発・運用を担当する方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容 1. 今なぜシステムトラブルの予防と是正なのか
(1)情報セキュリティ対策の実施状況
(2)システムトラブルの発生状況ほか
2. 情報セキュリティ概論
(1)情報資産とは
(2)脅威と脆弱性ほか
3. システムトラブルを未然に防止する
(1)物理的な事前対策
(2)技術的な事前対策
(3)管理的な事前対策
(4)システム監査によるトラブル防止ほか
4. システムトラブルの再発を防止する
(1)セキュリティ事件・事故への対処
(2)システムトラブル報告書
(3)ヒューマンファクタ分析ほか
5. まとめ
(1)危機管理の鉄則
講師：前橋システムコンサルティング株式会社代表取締役
前橋雅夫氏（公認システム監査人）

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSE129 コンプライアンス

**<eラーニング>
SNSのリスクと利用時のガイドライン**

1時間

SNSの特性やリスクについて事例を交えて紹介します。トラブルを未然に防ぐ重要性とそのポイントを学習し、SNS利用時のガイドラインを紹介します。また、万一、トラブルが起きた時に影響を最小化するためのポイントを学習します。

到達目標 ・SNSの特性、リスクを理解できる。
・トラブル予防の重要性を理解し、実行できる。
・迅速な対応の重要性を理解し、トラブル発生可能性がある、または発生した際に適切な初期対応ができる。

対象者 ・SNSを利用している全ての方。
・SNS上のトラブルを予防したい方。
・トラブル発生時の対応を知りたい方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. SNSとは
(1)SNSとは (2)SNSの影響力
(3)利便性と危険性の共存
(4)トラブルに巻き込まれる企業
(5)SNSのトラブルは身近な問題
2. SNSの特性
(1)SNS理解の重要性 (2)SNSの特性
(3)SNS利用時には
3. SNSのリスクおよび個人・企業への影響
(1)SNSのリスクを知る意義 (2)SNSのリスク分類
(3)企業の機密情報の漏えい (4)顧客情報の漏えい
(5)私的な投稿によるトラブル
(6)著作権・肖像権侵害リスク
(7)不適切な業務遂行に関する投稿
(8)誹謗中傷・風評 (9)なりすまし
(10)企業におよぼす影響
4. SNS利用時のガイドライン
(1)トラブル防止の重要性
(2)SNS利用時のガイドライン
(3)ガイドラインの目的
5. トラブル発生時の対応
(1)初期対応の重要性 (2)トラブル対応の流れ
(3)企業の初期対応 (4)従業員の初期対応
6. まとめ
(1)SNSのリスクの再確認 (2)今後に向け

備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HITACHI

Inspire the Next

各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名 古 屋	052-269-8940	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立講習会お問い合わせ窓口 ▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html>